

2025/3/17 (月)

朝の礼拝

聖書 コリントの信徒への手紙一 3章 7節 (新約聖書 297 頁)

ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神なのです。

神々しい

明後日、中学校卒業式と今年度の終業式を迎えます。約一年前、一年生は小学校の卒業式でしたが、今日、ここにいる誰もが一年後の自分、友だち、家族のことをどれだけ想像できていたでしょうか。それを考えただけでも人間の成長とは不思議なものです。

私は少し草花を育てていますが、同じ品種の草花でも地植えか鉢植えかでもまったく違いますし、鉢の置き場所を少し変えるだけでも成長が変わります。植える土や水やりの加減でも微妙に変化します。そして私たちは暑さ、寒さ、雨水をどうすることもできません。

もちろん順調に成長するのもあれば、残念な結果になることもあります。でも共通しているのは成長の変化は気づかないうちに、眠っている間におきています。実は学習も脳が休んでいる、寝ている間に、無意識に整理され更新されています。

睡眠、心身共に休む、無意識の世界はとても大切な世界です。目に見えるもの、文字や言葉、数字は比較し評価する便利な、一つの手段です。しかし私たちが草花のように成長し、互いに慰め、励ます姿は筆舌に尽くしがたく、神々しく、尊いことなのです。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、いよいよ年度末を迎え、一年の学びを終えようとしています。あなたの恵みと導きを祈り求め歩んできたわたしたちですが、どうかわたしたちの誤りを赦し、足りないところを補い、すべてをもってあなたの栄光をあらわすものにしてください。今日一日も、すべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン